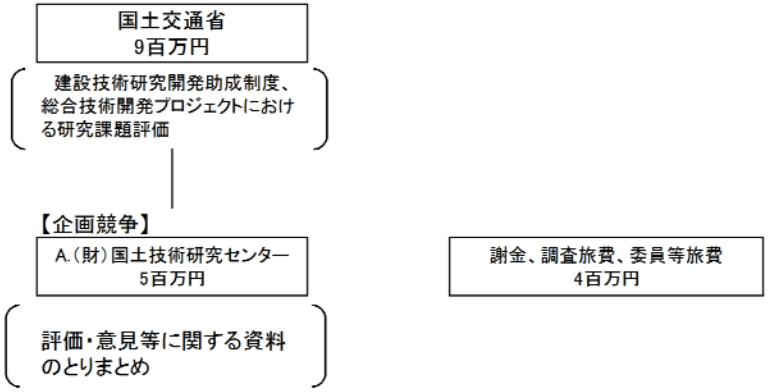


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	研究開発の評価等経費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者																								
事業開始・終了(予定)年度	平成10年度～	担当課室	技術調査課	課長 横山晴生																								
会計区分	一般会計	施策名	技術研究開発を推進する																									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	政策評価法第3条 研究開発力強化法第34条 科学技術基本法第14条	関係する計画、通知等	国の研究開発評価に関する大綱的指針(H20.10)、国土交通省研究開発評価指針(H22.3)、国土交通省政策評価基本計画(H22.3)、第4期科学技術基本計画(H23.8)、国土交通省技術基本計画(H20.4)																									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	技術研究開発の課題の適切な設定、研究計画の見直し、研究開発終了後の成果の社会への波及効果等の評価のため、「建設技術研究開発助成制度」及び「総合技術開発プロジェクト」の研究課題について、外部の学識者から構成される評価委員会により評価する。もって、技術研究開発課題の効率的、効果的な実施を図る。																											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>国が研究対象の大枠を示したうえで、要素技術について研究者の自由な発想に基づく独創的かつ革新的な研究に関する提案を大学、民間企業等々の研究者から公募し、優秀な提案に対して助成する「建設技術研究開発助成制度」について、外部有識者から構成される評価委員会(「建設技術研究開発助成制度評価委員会」)を設置、活用し、研究開発の特性に応じて総合的に評価を実施する。</p> <p>特に緊急性の高い課題に直結する技術開発を行政が主体となって産学官連携により行い、成果を国の技術基準等へ反映する「総合技術開発プロジェクト」について、外部有識者から構成される評価委員会(「技術研究開発評価委員会」)を設置・活用し、事前・事後評価を実施する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">建設技術研究開発助成制度</th> <th colspan="2">総合技術開発プロジェクト</th> </tr> <tr> <th>事前評価</th> <th>事後評価</th> <th>事前評価</th> <th>事後評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>10</td> <td>24</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>					建設技術研究開発助成制度		総合技術開発プロジェクト		事前評価	事後評価	事前評価	事後評価	平成20年度	22	10	1	2	平成21年度	20	15	2	1	平成22年度	10	24	2	2
	建設技術研究開発助成制度		総合技術開発プロジェクト																									
	事前評価	事後評価	事前評価	事後評価																								
平成20年度	22	10	1	2																								
平成21年度	20	15	2	1																								
平成22年度	10	24	2	2																								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他																											
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求																						
	予算の状況	当初予算	13	13	10	8	9																					
		補正予算	-	-	-	-	-																					
		繰越し等	-	-	-	-	-																					
		計	13	13	10	8	-																					
		執行額	12	12	9	-	-																					
	執行率(%)	95.7%	95.4%	88.9%	-	-																						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)																					
	定量的な成果目標を示すことができない。 (理由)本事業は研究開発課題の評価を行うための経費であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。	成果実績	-	-	-	-	-																					
	達成度	%	-	-	-	-																						
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込																					
	年度ごとの評価課題数を活動指標とする。 (本事業は、公募を行い優れた提案に対して助成する課題を評価するものであり、評価課題数については、採択課題の申請額から決定される交付金額により定まるため、当初見込みを定めることはできない)	活動実績 (当初見込み)	課題	35	38	38	-																					
			-	-	(-)	(-)																						
単位当たりコスト	0.23(百万円/課題)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X: 8.655(平成22年度予算額(単位:百万円)) Y: 38(平成22年度評価課題数)																								
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由																								
	技術研究開発謝金	2	4	「建設技術研究開発助成制度」において、平成23年度の公募テーマに加え、新たに震災対策に資する研究開発テーマを設定し、復旧・復興及び災害に強い国土づくりに資する緊急性、重要性の高い技術研究開発への助成を進める予定としている。そのため、平成24年度の評価課題数の増加が見込まれることにより増額が生じている。																								
	技術研究開発調査旅費	1	1																									
	技術研究開発委員等旅費	1	1																									
	技術研究開発調査費	3	3																									
計	8	9																										

事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>&lt;目的・予算の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「政策評価法」、「研究開発力強化法」、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「国土交通省研究開発評価指針」及び「国土交通省政策評価基本計画」に基づき、個々の技術研究開発の適切な評価に取り組んでいる。</li> </ul> <p>&lt;資金の流れ、費目・使途&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度における評価委員会における資料の整理、資料のとりまとめについては、企画競争による支出先（業務請負者）の選定を行い、選定の妥当性については第三者機関である企画競争有識者委員会により審議している（平成23年度においては、昨年度の指摘を踏まえ、企画競争ではなく価格競争を導入）。また、各評価委員会における委員への謝金、旅費の支払い及び職員による調査旅費については、標準支払基準等により適切に執行している。</li> <li>・業務発注においては、H21年度からH22年度に「総合技術開発プロジェクト」研究課題に関する評価委員会の評価・意見等に関する資料のとりまとめを、H22年度からH23年度に建設技術研究開発助成制度採択課題の実用化状況の実態調査を内製化し、効率的な執行に努めている。</li> </ul> <p>&lt;活動実績、成果実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発課題の評価について、外部学識者からなる評価委員会により、事前評価、事後評価を適切な時期に実施している。</li> </ul>			
	<b>予算監視・効率化チームの所見</b>			
	一部改善⑤	<p>発注に当たってはコストを精査の上縮減を図るとともに、競争性・透明性の高い発注先の選定方法の導入を図る。 また、企画競争については、発注者が仕様の詳細を定めがたいものに限定する。 ※基本的には内製化すべき。仮に外注する場合は一般競争入札とする。</p>		
	<b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）</b>			
<p>「評価・意見等に関する意見のとりまとめ」に係るコストを精査した上で、技術研究開発課題の評価に必要な予算を計上する。</p>				
<b>補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</b>				

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)国土技術研究センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	評価・意見等に関する資料のとりまとめ	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国土技術研究センター	評価・意見等に関する資料のとりまとめ	5	企画競争	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					